

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2017年7月2日（日）9：20～12：00（2時間40分）

■会場

西宮市立学文公民館 1階 大会議室

■参加者

32名（子ども16名、保護者2名、子ども会育成者8名、青年リーダー6名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：20	あいさつ 西宮市子ども会協議会 川本輝子会長
9：25	オリエンテーション
9：35	お話し「1. 17 その時 私は、地域は」
9：50	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：10	あいさつ 西宮市子ども会協議会会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 学文地区子ども会会長 中田かおる
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 6名

■会場の様子



語り部



アイスブレイキング



まちあるき



まとめ

■子どもたちによる防災の心得

- ・家の中の家具を固定する、枕元に重いものを置かない
- ・懐中電灯や靴を寝室に備えておく
- ・情報を得られるようラジオを買う
- ・部屋の中で揺れたら頭を隠して机の下にかくれる
- ・非常食を備えておく